

## 霧島ジオパークにおけるユニバーサルデザイン・ジオツアーの整備に関する検討\*

山口 弘幸\*\*

Consideration of Maintenance of Universal Design Geotour in Kirishima Geopark

Hiroyuki YAMAGUCHI\*\*

### 要旨

霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進を目的に、障害者や高齢者に配慮した魅力あるジオツアーの整備検討を行った。既存のジオツアーコースの存在とバリアフリー環境及び駐車場や宿泊先等の状況を踏まえる中で、霧島温泉郷地域を基点とする中で、ユニバーサルデザイン化の推進課題として、ソフト・ハードの両面を捉えた可能な限りの改善検討、国立公園の特性を踏まえたユニバーサルデザイン化の推進、受け入れ態勢整備を促進するバリアフリーツアーセンターとの連携、推進部会での継続的な検討と福祉関係者の参画の必要性について考察することができた。

霧島ジオパークと地域の関係団体との協議や連携のもと、行政やユニバーサルツーリズムツアーセンター等による支援を取り込みながら更なる検討を進めていくことが重要である。

### I. はじめに

ジオパークは、科学的かつ文化的に貴重な地質遺産をもつ自然公園であり、「大地の公園」を意味している。観光資源として地域の活性化を担う役割や地球科学や環境教育の利活用、地震や洪水等の防災活動への貢献に期待が寄せられている。こうしたジオパークとユニバーサルデザインとの関連において、「日本ジオパークネットワーク」が示すジオパークの自己評価表Aの項目には、インフォメーションセンターにおける障害者への対応項目の他、ジオツーリズムに関するチェック項目として障害者用メニューの有無が位置づけられており、ユニバーサルデザインの視点から点検・開発を実施していくことは、ジオパークが持続的に多彩な旅行者を受け入れていく上で重要な課題となっている。そしてこれらの検討は、身体障害者のみならずシニア層をも対象としたユニバーサ

ルツーリズムの受け入れ態勢の整備や誘客対策につながり、ジオパークの魅力の一層の浸透とともにシニア市場の開拓を見すえた鹿児島及び宮崎の観光振興に資するものであると考える。

筆者はこれまで、島原半島ユネスコ世界ジオパーク他3か所のジオパークにおいて、ユニバーサルデザインに対応したジオツアーの企画開発の検討を行ってきた。<sup>9)</sup> その中で適切な情報提供と無理のないバリアフリー状況の改善、内部資源の育成と利活用、外部サービスの取り込み、受け入れ体制強化を推進する組織との連携を行うことが、ジオパークのユニバーサルデザイン化を推進する上での課題であることが見出せた。<sup>10)</sup>

霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進に向けた取り組みとして、既に霧島ジオパーク・UDフォーラムによる取り組みなどが実際に行われており、こうした強みや取り組みを踏まえつつ、周辺環境の整備を見すえて、霧島ジオパークの地域特性にあったユニバーサルデザイン化の推進に向けた課題の解明と対応力向上に向けた今後の方向性について明示していくことは、多様に配慮した霧島ジオパークの持続的発展に結びついていくものであると考える。

そこで本研究では、霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進を目的に、ユニバーサルデザインの観点から各拠点施設の点検及び開発を実施するとともに、周辺環境としてのバリアフリーに対応した宿泊先や食事処等の検討や介護タクシーの活動状況を調査し、積極的なバリアフリー情報の発信に向けた基礎的資料の制作を行うとともに、霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進課題について検討を行いたい。

### II. 調査の展開とモデルコースの地域選定

調査の対象地域として、霧島ジオパーク全域を

\* Received October 3, 2022

\*\* 鎮西学院大学 現代社会学部 社会福祉学科 Faculty of Contemporary Social Studies, Nagasaki Wesleyan University, 1212-1 Nishieida, Isahaya, Nagasaki 854-0082, Japan

対象に、①霧島温泉郷周辺地域、②えびの市周辺地域、③曾於・都城周辺地域、④小林市周辺地域、⑤御池周辺地域の5つのブロックに分けてモデルコース地域の選定を行うため、ジオ資源の実地調査及び聞き取り調査を行った。

調査の方法としては、ユニバーサルツーリズム推進の観点から、①対応可能性のあるジオ資源の洗い出しと点検、②車イスユーザーやシニア等が安心して旅行ができる環境把握の2つを目標に、以下の観点から現地視察調査及び拠点施設関係者やジオガイドにインタビュー調査を実施した。

①対応可能性のあるジオ資源の洗い出しと点検では、安全管理の観点から路面や段差等の状況把握やトイレ及び駐車場等についてハード面の強みや課題、課題がある中でも人的なソフト面での対応可能性についても必要に応じて聞き取り調査を実施した。

②車イスユーザーやシニア等が安心して旅行ができる環境把握では、各地域の観光協会やバリアフリーツアーセンターへの聞き取り調査及び現地視認調査を実施し、バリアフリーに対応した旅館やホテル、食堂やお土産処、福祉タクシー等の移動支援事業者の対応状況の調査を進めた。

調査期間は2021年7月28日から8月1日である。5つのブロックのコース設定の実現可能性と困難性について以下のとおりであった。

#### ①霧島温泉郷周辺地域

既存のジオツアーコースとして、「南九州の成り立ちを探るコース」、「神話・歴史・自然・噴火よくばりコース」が設定されている。コース設定の可能性として、南九州の成り立ちや天孫降臨と山岳信仰をテーマに、霧島神宮をはじめとした主要な観光スポットを押さえつつ、わかりやすいジオストーリーを織りなせる恵まれた状況にある。また食事、お土産処とジオ資源が一体化している拠点があり、宿泊先として近年バリアフリー対応の旅館やホテルの整備が進んできている。霧島ジオパークの代表的なコースである。

#### ②えびの市周辺地域

「加久藤の地形・文化散策コース」として、矢岳高原、道の駅えびの、毘沙門滝、めがね橋、享保水路太鼓橋、八幡丘公園がジオツアーコースに設定されている。付き添いの介助があれば矢岳公園や八幡丘公園など散策を楽しむことができるが、毘沙門滝その他ジオ資源については、路面環

境の状況及び段差や階段が多く、多目的トイレの設置状況から時間をかけた整備が求められる。またバリアフリーに対応した宿の確保も課題である。

#### ③曾於・都城周辺地域

「大規模火砕流が織成す自然に癒されるコース」として、道の駅財部きらら館、悠久の森、三連滝、溝ノ口洞穴、関之尾滝がジオツアーコースとして設定されている。多目的トイレの設置状況として恵まれた条件にあり、現状では滝口近くまでの移動は難しくとも見どころの見学や周辺地域の散策は可能となっている。一部の車両通行規制が車イスの移動を制限している場所があるが、地元バリアフリーツアーセンターのツアーコースにも本コースの一部が組み込まれていることもあり、コース設定の実現可能性は高いと考える。宿泊においても霧島温泉郷や曾根地域のバリアフリー対応のホテルなどの見込みもあり、霧島温泉郷周辺地域からの滞在型観光を目指して、第2候補として検討すべき地域である。

#### ④小林市周辺地域

「水と火山が育んだ自然満喫コース」として、生駒高原、出の山公園、小林市観光協会、陰陽石、三之宮峽、須木の滝が設定されている。生駒高原、出の山公園については、多目的トイレの存在と観光・食事・買い物等が一体化しており利便性が高い。陰陽石、三之宮峽、須木の滝のいずれか一つでも多目的トイレや路面環境の整備が進めばコース設定の可能性が高まると考える。バリアフリー対応の宿泊先の確保が課題であり、時間をかけた検討が必要である。

#### ⑤御池周辺地域

「神話・歴史・自然・噴火よくばりコース」の一部の中に御池や皇子原公園が設定されている。御池については多目的トイレが設置されており安心して観光することができる。しかしその周辺地域のキャンプ場や森林道については、風光明媚であるが時間をかけた整備が求められる。

本調査では、霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化を推進するための具体的な検討方法として、ユニバーサルデザインに対応したジオツアーのコース整備の検討を行うことを目的としている。上記の検討を踏まえて、今回の調査では5つの地域の中で、コース設定に向けた実現可能性が高

く、霧島ジオパークのジオコースとして代表性のある霧島温泉郷周辺地域を取り上げる。既存のジオコースである「南九州の成り立ちを探るコース」、「神話・歴史・自然・噴火よくばりコース」を組み合わせたジオ資源の中から調査対象施設として、①高千穂牧場、②霧島神宮、③御鉢霧島神宮溶岩、④霧島神話の里公園、⑤古宮址の当初5施設を選定した。しかし⑤古宮址については、調査時点でビジターセンターが改修中であり、十分な調査ができないため、モデルコースに組み入れることは今回保留とした。対象施設の選定理由については次の4点である。

#### ①ジオストーリーに根差したコース展開が可能

「自然の多様性とそれを育む火山活動」という霧島ジオパークのテーマに即して、新燃岳に代表される霧島連山の活火山の状況を踏まえつつ、人々の生活の営みや神話伝承、祈りの場である霧島神宮の変遷から、自然の脅威や恵み、火山との共生などについて考えることができる霧島ジオパークの代表性をもったコースである。

#### ②子どもから大人まで楽しめる体験メニューの存在

高千穂牧場や霧島神話の里公園は、霧島の雄大な自然を一望に楽しむことができるが、動物とのふれあい体験やポップアップ自動車での移動などは、子どもが楽しめるだけでなく、個人差はあるがシニア層や障害のある方にとっても無理なくゆったりと楽しめる体験メニューである。

#### ③観光・食事・買い物が一体化して利便性が高い

食事処やお土産屋がジオ拠点に併設しており、障害者やシニア層にとって利便性が高い。また食事についても地元の名物を食することができ、魅力的である。

#### ④周辺地域に多目的トイレの存在

御鉢霧島神宮溶岩には、拠点内に多目的トイレはないが、車で5分圏内に霧島市観光案内所の多目的トイレの活用が見込まれ、その他拠点は多目的トイレが存在し、オストメイト対応の設備を有する施設が1か所存在している。

霧島ジオパークを5つのブロックに分けてジオサイトを巡検し、バリアフリー環境及び駐車場や宿泊先等の状況を踏まえる中で、モデルコース地域の可能性を検討した。上記の選定理由から霧島

温泉郷地域を軸に企画開発の可能性を検討した。

### Ⅲ. ユニバーサルデザイン・ジオツアーのコース設定の実地調査

霧島温泉郷地域でのユニバーサルデザイン・ジオツアーのコース選定の可能性を現実的に検討するために対象施設に対するバリアフリー調査を実施した。調査施設は、高千穂牧場、霧島神宮、御鉢霧島神宮溶岩、霧島神話の里公園の4箇所と周辺ルートにおける多目的トイレの8箇所である。これらのハード面、ソフト面からのユニバーサルデザイン対応状況について情報収集を行い、パンフレット等で積極的な情報発信を行うことを目指している。そのことが訪問意欲の喚起とコースの設置を目指した具体的な検討資料となることが推測されるためである。

バリアフリー情報の整理については、様々な旅行困難者が「使える情報」を目指して、「対応している部分」だけでなく「現段階では対応できていない部分」を踏まえて、旅行者側が自らの状況に応じて自己判断できるよう「留意点」の項目を設けている。訪れた車イスユーザーらが注意喚起等で判断できる情報の明示を目指している。そしてバリアフリー状況の情報発信については、障害者用の関連マークを積極的に採用した。その際「長崎市公式観光サイトあっ！とながさき」(ホームページ)の情報表記を参照・引用し、わかりやすい情報表記を目指した。またパンフレットからQRコードを介してバリアフリー情報を確認できる工夫を取り込んでいる。各施設の概要及び調査結果については次の通りである。



### Ⅲ-1. 各拠点施設の対応状況

(写真1) 高千穂牧場

#### ①高千穂牧場

高千穂牧場は、霧島連山の山並みを一望に見渡せるロケーションにあり、牛や馬や羊といった様々な動物とのふれあい、手作り体験、牧場見学など大人から子どもまで楽しみながら自然の恵みについて考えることができる。必要に応じて車椅子やベビーカーを自由に活用できるよう備え付けられており、専用の救護室兼ベビールーム室があります。また駐車場からの移動では、高齢者や妊婦や体の不自由な方を対象とした送迎サービス等を行っている。牧場設備の他、工場の見学や体験活動、売店やレストランが併設されており、時間を忘れてのんびりと楽しむことができる。



(資料1) 高千穂牧場のバリアフリー情報

#### ○バリアフリー対応状況



#### ○バリアフリー情報

貸し出しサービスや相談対応の充実



多目的トイレは2か所設置されており、総合案内所では、ベビーカーや車イスの貸し出しサービスや送迎等の相談を受け付けています。

充実したベビーカー設備



専用の救護室・ベビールームがあり、安心してオムツ交換や休養ができるきめ細やかな配慮がなされています。

#### ○留意点

送迎サービスについて



売店や牧場まで上り坂があります。高齢者、身体の不自由な方、妊婦を対象とした送迎サービスがあります。必要な方は駐車場にある備え付けの電話でカートの送迎相談を行うようにしてください。

カートの利用が難しい場合



送迎サービスの対象者で、カートへの移乗ができない場合は、総合案内所の許可を受けて売店奥の敷地まで車で移動することができます。事前に電話で相談するようにしてください。

## ②霧島神宮

霧島神宮は、高千穂に降り立たとされるニギノミコトを祀った南九州最大の神宮である。噴火による度々の焼失で、室町時代に現在の場所に移された。敷地内は、バリアフリー駐車場が10台あり、神楽殿及び参拝者休憩所はフラットな路面環境となっており、多目的トイレがそれぞれに設置されている。安心してお祈りを受けたり、お土産や食事を楽しむことができる。身障者専用駐車場から本殿までの参道には多少距離と坂道があるが、途中でさざれ石や御神木も眺めることができ、天孫降臨の神話と霧島の歴史について思いをはせながら散策することができる。

## (写真2) 霧島神宮



## (資料2) 霧島神宮のバリアフリー情報

### ○バリアフリー対応状況



### ○バリアフリー施設情報

#### 身障者専用駐車場と本殿入口までの路面整備



身障者専用駐車場が10台あり、本殿入口まで車イスで移動がしやすいよう、路面が整備されています。さざれ石、三の鳥居、御神木を眺めることができます。

#### ○留意点

##### 身障者専用駐車場から本殿への参拝



身障者専用駐車場から本殿まで坂道と距離があります。本殿敷地の参道には、浄明正直の思想から玉砂利が敷いてあり、本殿には境目を現わす階段があります。本殿への参拝の際は基本介助者が必要です。

#### 貸し出し用車イスと多目的トイレ



参拝者休憩所には、貸し出し用車イスがあり、そばには多目的トイレがあります。本殿横の神楽殿にもオムツ交換台を備えた多目的トイレがあります。

#### 身障者専用駐車場から移動が困難な場合



身障者専用駐車場からの移動が困難な場合に限り、社務所の許可を受けて、本殿の横にある神楽殿の前まで車を乗り入れて移動することができます。事前に社務所に電話相談するようにしてください。



### ③御鉢霧島神宮溶岩

御鉢霧島神宮溶岩は、今から1200年ほど前に御鉢火山の噴火により流れ出たものであり、その地形からは柱状節理を垣間見ることができる。周辺一帯は、神水峡とも呼ばれており、国立公園記念碑や人工滝など豊かな自然に囲まれている。車イスの移動では駐車場から戸崎橋、国立公園記念碑まではフラットな環境だが、奥に進むと段差や坂があり、介助が必要となる。また多目的トイレがないため、事前に出発地周辺でお手洗いを済ませることをお勧めしたい。

### (写真3) 御鉢霧島神宮溶岩



### (資料3) 御鉢霧島神宮溶岩のバリアフリー情報

#### ○バリアフリー対応状況



#### ○バリアフリー情報

##### 駐車場について



身障者専用の駐車場はありませんが、2台分の駐車スペースが確保されています。

##### 安全な経路と人工滝



人工滝を眺めることができる橋側を経路として進むと車道側を通らず、安心して進むことができます。

#### ○留意点

##### 横断歩道時の注意とトイレについて



車道を横切の際は、信号がない横断歩道を横切ることになりますので車に注意してください。また路面環境で凸凹がある箇所があるため、転倒しないよう気をつけてください。

##### 池のそばの路面状況について



池のそばの路面状況は、傾斜とでこぼこがあり、池の近くまで移動して、柱状節理や鯉の遊泳を見る際は介助者が必要です。

#### ④霧島神話の里公園

霧島神話の里公園は、高千穂峰をはじめ、錦江湾、桜島、開聞岳を一望できるパノラマパークである。園内には展望広場や遊覧リフト、スーパースライダーなど大人から子どもまで楽しめるアトラクションがある。敷地にある神話館では南九州の神話をアニメーションで観ることができる。神話館までは車イスの方もポッポ列車で移動することができる。また道の駅でもあるほっと霧島館では、鹿児島ならではの土産や地元黒豚料理を味わえるレストランもあり、フラットな路面環境で安心して楽しむことができる。

(写真4) 霧島神話の里公園



(資料4) 霧島神話の里公園のバリアフリー情報

##### ○バリアフリー対応状況



##### ○バリアフリー情報

###### 神話館等への移動



神話館やリフト乗り場への移動は、長い坂道と階段があります。有料ですがポッポ列車を使う方が便利です。車イスの方も利用できる車両もあります。また事前に神話館に電話相談し、申請すると車で神話館まで行くことができます。

###### 道の駅での買い物と食事



道の駅でもあるほっと霧島館は、車イスの方に合わせた目線でお土産を買うことができます。館内館外に身障者用トイレがあり、レストランではフラットな路面環境で鹿児島名物の料理を味わうことができます。

##### ○留意点

###### 神話館でのシアター視聴や2F 展望所について



神話館には身障者用トイレがあり、シアター館では天孫降臨にまつわる神話をフラットな環境で視聴することができます。2Fにある風の見える丘へ登るには階段があります。

###### 展望広場等への移動について



リフト乗り場までポッポ列車で行くことはできますが、周辺のアトラクションへの移動は長い坂道と階段があります。介助者が必要です。展望広場へのリフトは車イスの方の単独利用は困難です。



### Ⅲ-2. 周辺ルートにおける多目的トイレの状況

周辺ルートにおける多目的トイレの状況は以下の表の通りであるが、旅の起点となる霧島神宮駅や多くの観光客でにぎわう霧島温泉市場周辺に多目的トイレの設置とオストメイト対応及びおむつ交換台の設置推進を図ることは重要な課題である。

少なくともオストメイト対応及びおむつ交換台の有無について、積極的な情報発信を行うことが求められる。オストメイト対応及びおむつ交換台についてはある場所とない場所があり、それらを踏まえた情報提供が設置推進とともに課題であることが見出せる。(表1)

(表1) 周辺ルートの多目的トイレの状況

2021年8月1日時点

名称	オストメイト	おむつ交換台	備考
① 道の駅「霧島」ほっと霧島館	×	×	
② 道の駅「霧島」屋外駐車場	×	×	
③ 神話館入口横	×	×	
④ 霧島市観光案内所	×	×	
⑤ 霧島神宮参拝者休憩所横	○	○	
⑥ 霧島神宮神楽殿	×	×	
⑦ 高千穂牧場	×	×	専用ベビールーム有
⑧ 霧島神宮古宮址屋外駐車場	×	×	

拠点施設及び周辺ルートの多目的トイレの調査を行う中で、道の駅の拠点機能を取り込みつつ、高千穂牧場、霧島神宮、御鉢霧島神宮溶岩、霧島神話の里公園の現行の状況から多目的トイレの整備推進等の課題はあるが、適切な情報提供と無理のないバリアフリー状況の改善、介助者の手配を行えば、概ねコース設定が可能であることが見い出せた。これらの調査結果を踏まえて、ツアーコースのパンフレット案を作成したので文末資料として参照されたい。

### Ⅳ. 霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進課題

本研究では、霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進を目的に、ユニバーサルデザインの観点から各拠点施設の点検及びユニバーサルデザイン・ジオツアーの整備検討を行った。既存のジオツアーとバリアフリー環境及び駐車場や宿泊先等の状況を踏まえる中で、霧島温泉郷周辺地域を選定し、拠点施設及び周辺ルートの多目的トイレの調査を行う中で、多目的トイレ等の設置推進等の課題はあるが、適切な情報提供と無理のないバリアフリー状況の改善、介助者の手配を行えば、現行の各施設の取り組みからも概ねコース設定が可能であることが考察された。

これらを踏まえた霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進課題について、①ソフト・ハードの両面を捉えた可能な限りの改善検討、②

国立公園の特性を踏まえたユニバーサルデザイン化の推進、③受け入れ態勢整備を促進するバリアフリーツアーセンターとの連携、④推進部会での継続的な検討と福祉関係者の参画の4点が考えられる。

①ソフト・ハードの両面を捉えた可能な限りの改善検討については、ソフト面の対応の充実として、霧島ジオパークUDフォーラムによる車イス介助を含めたガイド実践の可能性がある中で、多目的トイレ等のハード面との整備が課題となっている。ハード面の対応充実には費用と時間もかかるが、優先化と重点化の観点も踏まえつつ、地元自治体はユニバーサルツーリズムの推進を施策的課題に位置付けて、国の基金等も活用しながら段階的に整備を進めていく視点をもちあわせていくことが必要である。

②国立公園の特性を踏まえたユニバーサルデザイン化の推進では、対象エリアが国立公園であることの特性を踏まえて、管轄する国立公園管理官事務所と自然公園財団と協議連携し、国立公園満喫プロジェクトの進行計画の中にユニバーサルデザインの視点を踏まえた提案を行う中で、ハード面・ソフト面の対応充実を図る視点も重要である。自治体行政と一体感を持った調整が重要な役割を担うと考えられる。

③受け入れ態勢整備を促進するバリアフリーツアーセンターとの連携については、観光困難者からの相談対応、宿泊ホテルや介護タクシー等との



連携支援、ツアーコースの開発やプロモーションを担うバリアフリーツアーセンターの拠点が霧島市にあることを踏まえて、霧島ジオパークおよび観光を推進する部局は連携を深める中で、対応力向上に向けた検討を進めていくことが重要である。

④推進部会での継続的な検討と福祉関係者の参画では、対応可能性のあるジオ拠点のゾーニングと宿泊、多目的トイレ、買い物や食事等も踏まえたパッケージ化を今回行ったが、これが到達点ではない。周辺環境の整備充実を含めた継続的な検討が必要である。ジオパークの推進部会の中に協議・検討の場を設置し、福祉関係者及び障害当事者等が参画する中で、本プランをたたき台に継続的な議論が進められていくことが望ましい。

### おわりに

本稿では、霧島ジオパークのユニバーサルデザイン化の推進を目的に、できるところから始めるというスタンスで地域資源を点検し、ユニバーサルデザイン・ジオツアーのコース整備を目指して検討した。霧島温泉郷地域を基点とする中で、ユニバーサルデザイン化の推進課題として、ソフト・ハードの両面を捉えた可能な限りの改善検討、国立公園の特性を踏まえたユニバーサルデザイン化の推進、受け入れ態勢整備を促進するバリアフリーツアーセンターとの連携、推進部会での継続的な検討と福祉関係者の参画の必要性について考察することができた。

様々な観光資源は既に何らかの取り組み工夫を行う中で、障害の種類や程度が様々な方々をそれぞれの状況の中で受け入れ対応を行い、ユニバーサルデザイン化の推進が徐々に図られてきている。それらの取り組み主体のネットワーク化を進め、更なる検討と実践を通して、多様性に配慮した持続的発展を期待したい。

### 謝辞

本研究は、令和3年度霧島ジオパーク学術研究支援補助金の助成を受けて実施したものである。本調査に快くご協力頂いた霧島ジオパークUDフォーラムの皆様をはじめ、霧島ジオパーク事務局様、道の駅霧島様、霧島観光協会様に心より感謝申し上げます。そして宿泊情報、介護タクシー、多目的トイレの状況等について情報提供頂きましたかごしまバリアフリーツアーセンター様にも厚く御礼申し上げます。

### 引用文献・参考文献

- (1) 秋山哲夫・大西康弘・佐藤貴行「観光困難階層にとってのユニバーサルツーリズム」『観光科学研究』第6巻、pp.111-125、2013年
- (2) 井上寛「高齢社会に向けた観光地のバリアフリー化:美の郷ゆざわジオパークを事例として」『ノースアジア大学国際観光研究』(8)、pp.63-76、2015年
- (3) 霧島ジオパーク推進連絡協議会「霧島ジオパーク公式ガイドブック」、2014年
- (4) 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター「高齢化社会におけるユニバーサルツーリズムを軸とした観光振興施策の検討調査報告書」報告書、2015年
- (5) 日本ジオパーク委員会「第36回日本ジオパーク委員会審査結果報告書(霧島ジオパーク)」資料、2019年
- (6) 深見聡「ジオパークとジオツーリズムの成立に関する一考察」『地域総合研究』38(1)、pp.63-72、2010年
- (7) 福岡空港しょうがい者・こうれい者観光案内所「そらよか九州」Vol.1、2020年
- (8) 山口弘幸「温泉観光地におけるユニバーサルツーリズム推進の視点と方法に関する一考察」『長崎ウエスレヤン大学地域総合研究所研究紀要』18(1)、pp.35-43、2020年
- (9) 山口弘幸・開浩一「島原半島ユネスコ世界ジオパークを活かしたユニバーサルツーリズムの整備に関する検討」『長崎ウエスレヤン大学地域総合研究所研究紀要』19(1)、pp.91-100、2021年
- (10) 山口弘幸「南紀熊野ジオパークにおけるユニバーサルデザイン・ジオツアーの展開可能性」『鎮西学院大学紀要』20(1)、pp.89-98、2021年
- (11) 山口弘幸・開浩一「島原半島ユネスコ世界ジオパークにおけるジオガイドへのユニバーサルツーリズム研修と検討課題」『鎮西学院大学地域総合研究所研究紀要』20(1)、pp.105-114、2022年
- (12) 山口弘幸「霧島ジオパークにおけるユニバーサルデザイン化の推進に関する調査研究」『令和3年度霧島ジオパーク学術研究支援補助金実績報告書』、2022年

文末資料：(仮称)「霧島連山の自然と神話・祈りをたどるコース」パンフレット案

鹿児島県

## 霧島ジオパーク

ユニバーサルデザイン・ジオツアー(案)

自然の多様性とそれを育む火山活動

ジオパークは、地域の成り立ちを知るだけでなく、歴史・文化、植物などを通じて、大地と人の暮らしの営みを実感して楽しむところです。

### 霧島連山の自然と神話・祈りをたどるコース

① 高千穂牧場

② 霧島神宮

③ 御鉢霧島神宮溶岩

④ 霧島神話の里公園

数々の神話が言い伝えられる霧島連山は、火山の躍動によって、人々の生活や祈りの場にも様々な影響を与え続けてきました。火山が作り上げた自然の景観美を楽しみつつ、火山と人との共生について考えるコースです。

※ 上記コースは食事時間をいれて概ね4時間となります。

### 食の恵み

サイコロステーキ

おしるこ

黒豚とんかつ

黒豚しゃぶしゃぶ鍋

※ コース内店舗で召し上がれます。

### UD・ジオガイド

霧島ジオパーク・UDフォーラムのジオガイドが、旅のサポートを致します。詳細はお問い合わせください。

#### ① 高千穂牧場

霧島連山の一大パノラマを眺望するとともに、動物たちとのふれあいや手づくり体験など大人から子どもまで楽しむことができます。

入館料無料  
9時～17時半 4～10月  
9時～17時 11～3月  
不定休

#### ② 霧島神宮

高千穂峰に降り立ったとされるニニギノミコトを祀った南九州最大の神宮で、天孫降臨の神話や霧島の歴史について理解を深めることができます。

入場料無料  
道の駅「一枚岩」  
9時半～17時 (平日)  
8時半～17時 (土日祝)  
年中無給

#### ③ 御鉢霧島神宮溶岩

788年に御鉢から流れ出した溶岩によって形成された柱状節理や人工滝、日本最初に指定された国立公園の碑を眺めることができます。

入場料無料  
多目的トイレ無  
年中無休

#### ④ 霧島神話の里公園

霧島の雄大な自然を一望できます。天孫降臨の神話のアニメーション上映や様々なアトラクションがあり、大人から子供まで楽しむことができます。

入場料無料  
道の駅「霧島」併設  
9時～17時15分 (春夏)  
9時～17時 (秋冬)  
年中無休

10分 → 5分 → 10分

**車イスの方がよく泊まれるホテル**

- 旅行人山荘
- 霧島国際ホテル
- 天からの贈り物 Vila Montpetre

**介護タクシー**

- 福祉タクシーすみれ
- 国分旭交通
- 鹿児島民間救急つなぐ

バリアフリー情報

パリアフリーツアーセンター  
かごしまバリアフリーツアーセンター

— 146 —